



MONET

た
お
や
か
TAOYAKA

東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアムシンポジウム

Smart Campus Initiatives in Hiroshima



日 時

2021 年

3/10 (水)

13:00 ~ 16:50

開催形式

Zoom による
オンラインライブ配信

言 語

日英 (同時通訳あり)

持続可能な地域の創生に向けて、交通やエネルギー問題の解決は重要な課題であり、学術的にも様々なアプローチから調査研究や実証実験が各地で行われています。

広島大学でも 2021 年 3 月より、東広島市、イズミ、モネ・テクノロジーズと共同し、情報通信技術や AI を活用した効率的で便利な交通システム「MaaS (Mobility as a Service)」の普及へ向け、実証実験を開始します。

本シンポジウムでは、国内外から専門家の方をお招きし、自動運転やスマートエネルギーなどの先端技術が学びや生活に与える影響について、参加者の皆様と共有し、私たちの未来を考えます。

基調講演



エドウィン・オルソン

Dr. Edwin Olson

CEO, May Mobility, Inc.
ミシガン大学・教授
(電気工学/コンピュータサイエンス)

オルソン氏は、フォードやトヨタの研究所において、10 年以上にわたって自動運転車両の開発のプロジェクトに携わってきた。自動運転技術に関する各種のコンペで優勝し、2012 年にはポピュラーサイエンス誌の「10 名の秀才 (Brilliant 10)」に選ばれた。2019 年には、アーンスト・アンド・ヤング社のアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーに選出され、2017 年には、共同出資者として May Mobility 社を創設、2019 年には、ファースト・カンパニー誌の最もイノベティブな企業に選ばれた。

マサチューセッツ工科大学にて博士号取得
(コンピュータサイエンス/電気工学)

プログラム

- 開会挨拶 越智 光夫 (広島大学長)
- 来賓挨拶 高垣 廣徳 (東広島市長)
- 趣旨説明 藤原 章正 (広島大学副学長 (学術院担当))
- 基調講演 「Multi-Policy Decision Making (MPDM) を用いた自動運転」
Edwin Olson (May Mobility, Inc. CEO/ ミシガン大学・教授)
- 講 演 「MONET が考える自動運転社会」
柴尾 嘉秀 (MONET Technologies・代表取締役副社長 兼 COO)
- 「羽田イノベーションシティでのスマートシティの取り組みとこれからの展望」
加藤 篤史 (鹿島建設・開発事業本部 事業部長)
- 「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言とは」
高瀬 正道 (住友商事・ゼロエミッション事業部エネルギーサービスチーム長)
- 「次世代賀茂学園都市構想に向けて」
金子 慎治 (広島大学副学長 (グローバル化推進担当))
- 閉会挨拶 楯 真一 (広島大学理事・副学長 (学術・社会連携担当))



参加登録

<https://cutt.ly/1lw2zKG>

お問い合わせ先： 広島大学たおやかプログラム事務局
E-mail : taoyaka-program@office.hiroshima-u.ac.jp

主 催 : 東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム

共 催 : 広島大学

東広島市

東広島 - 広島大学 Town & Gown Office

広島大学大学院リーディングプログラム

「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」